

府中高等学校 令和3年度 年間授業計画

教科:(国語) 科目:(国語総合(現代文)) 対象:(第1学年 1組 ~ 7組) 5単位中の2単位

教科担当者:

使用教科書:(国語総合(現代文編)第一学習社)

使用教材:『大学入試漢字 TOP2000』(いづな書店)、『新版6訂カラー版 新国語便覧』(第一学習社)、『リテラ2』(文芸堂)

指導内容	科目「国語総合(現代文)」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定 時数
4月 評論(二) 『ものとことば』	<ul style="list-style-type: none"> 現代における言語概念を理解し、人文科学における(国語)概念に関する知識を習得する。 言語概念を中心とした人文科学の構造を理解する。 話す・聞く能力に関して目的や場に応じて効果的に話的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深める。 内容や表現の仕方に注目しながら筆者の主張や意図を読み取ることができる。 	興味・関心 意欲・態度 知識・理解 グループディス カッションへの 取り組みと内 容・内容把握課 題・小テスト 定期考査	6
5月 評論(二) 『ものとことば』	<ul style="list-style-type: none"> 現代における言語概念を理解し、人文科学における(国語)概念に関する知識を習得する。 言語概念を中心とした人文科学の構造を理解する。 相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深める。 国語で伝え合う力を、主体的に高める姿勢を持つ。 内容や表現の仕方に注目しながら筆者の主張や意図を読み取ることができる。 	興味・関心 意欲・態度 知識・理解 グループディス カッションへの 取り組みと内 容・内容把握課 題・小テスト 定期考査	6
6月 小説(一) 『羅生門』 評論(二) 『ものとことば』 発展課題	<ul style="list-style-type: none"> 現代における言語概念を理解し、人文科学における(国語)概念に関する知識を習得する。 言語概念を中心とした人文科学の構造を理解する。 言語概念を中心とした人文科学の構造を理解する。それをもとにして評論や小説の基礎概念を理解する。 人文科学の基礎知識をもとにして、評論や小説の基礎概念を理解する。 生徒同士と教員との話し合いを通じて、自分の考えをまとめ、深め、発表する。 	興味・関心 意欲・態度 知識・理解 グループディス カッションへの 取り組みと内 容・内容把握課 題・小テスト 定期考査	8
7月 小説(一) 『羅生門』 発展小説課題 評論(二) 『ものとことば』 発展課題	<ul style="list-style-type: none"> 現代における言語概念を理解し、人文科学における(国語)概念に関する知識を習得する。 言語概念を中心とした人文科学の構造を理解する。 言語概念を中心とした人文科学の構造を理解する。それをもとにして評論や小説の基礎概念を理解する。 人文科学の基礎知識をもとにして、評論や小説の基礎概念を理解する。 生徒同士と教員との話し合いを通じて、自分の考えをまとめ、深め、発表する。 	興味・関心 意欲・態度 知識・理解 グループディス カッションへの 取り組みと内 容・内容把握課 題・小テスト	4
9月 評論(一)「本当の自 分」幻想	<ul style="list-style-type: none"> ソーシャル・ネットワーキング・サービスが普及した現代におけるコミュニケーションについて、言語論の知識を踏まえて理解する。 生徒同士と教員との話し合いにより、現代におけるコミュニケーションについて、自分なりの考えを持つ。 人文科学の基礎知識をもとにして、人格概念について考える。 	興味・関心 意欲・態度 知識・理解 グループディス カッションへの 取り組みと内 容・内容把握課 題・小テスト	8
10月 評論(三) 『ネットが崩す公私の 境』	<ul style="list-style-type: none"> 人文科学の基礎知識をもとにして、これまでに学んだ人格概念について整理する。 情報化社会における、メディアと人格概念の関係性を理解する。 生徒同士と教員との話し合いにより、現代におけるコミュニケーションについて、理解を深める。 	興味・関心 意欲・態度 知識・理解 グループディス カッションへの 取り組みと内 容・内容把握課 題・小テスト・ 定期考査	8
11月 評論(五) 『ホンモノのおカネの 作り方』	<ul style="list-style-type: none"> 人文科学の基礎知識をもとにして、貨幣と言語の関連性について考える。 人文科学の重要な概念である、〈貨幣〉〈資本主義〉〈経済〉と、言語の関連性を理解する。 生徒同士と教員との話し合いにより、現代における経済のシステムについて、理解を深める。 	興味・関心 意欲・態度 知識・理解 グループディス カッションへの 取り組みと内 容・内容把握課 題・小テスト・ 定期考査	8
12月 2学期の復習 「夢十夜」	<ul style="list-style-type: none"> 言語論を中心とした人文科学の概念と方法を理解し、各教材の内容を再確認する。 人文科学の基礎知識をもとにして、評論や小説の読解を行う。 	興味・関心 意欲・態度 知識・理解 グループディス カッションへの 取り組みと内 容・内容把握課 題・小テスト・ 定期考査	4
1月 評論(六) 『自律という虚構』	<ul style="list-style-type: none"> 人文科学の基礎知識と、これまでに学習した人格概念をもとにして、人間の行動について理解する 人文科学の重要な概念である、〈主体性〉と〈行動〉の構造について理解する。 生徒同士と教員との話し合いにより、人間の行動のシステムについて、理解を深める。 	興味・関心 意欲・態度 知識・理解 グループディス カッションへの 取り組みと内 容・内容把握課 題・小テスト	6
2月 グローバリズムの「遠 近感」	<ul style="list-style-type: none"> 言語論的転回後の現代思想における「国民国家」概念を理解する。 国民国家とグローバリズムの理解に基づく、国際問題についての理解を深める。 生徒同士と教員との話し合いにより、〈国家〉と〈国民〉、あるいは〈国語〉というものについての理解を深める。 	興味・関心 意欲・態度 知識・理解 グループディス カッションへの 取り組みと内 容・内容把握課 題・小テスト・ 定期考査	6
3月 一学年の復習	<ul style="list-style-type: none"> 一年間で学習した、社会の諸構造について再確認する。 評論文を読む上で前提となる、人文科学の知識を再確認し、次学年の学習に生かすことができる。 	興味・関心 意欲・態度 知識・理解 グループディス カッションへの 取り組みと内 容・内容把握課 題・小テスト	6

府中高等学校 令和3年度 年間授業計画

教科:(国語) 科目:国語総合(古典) 対象: 第1学年1組 ~ 7組 5単位中の3単位

教科担当者:

使用教科書:『国語総合 古典編』(第一学習社)

使用教材 『カラー版新国語便覧 新版6訂』(第一学習社) 『三訂版 重要古文単語315』(桐原書店) 『詳説 古典文法』・ 同 準拠学習ノート(筑摩書房) 精選漢文・同 準拠ノート(尚文出版) 『古典選読トレーニング 基礎』(数研出版)

	指導内容	科目「国語総合(古典)」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
4月	古文入門 「児のそら寝」	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的仮名遣いとその読み方を理解し、古文を正しく音読できる。 ・古文の読解のために必要な基本的な思考概念を確認する。 ・用言の基本を習得し、問題演習も通じて重点的に扱う。・発展的な内容も扱う。 ・「主体的・対話的で深い学び」を通じて学習活動を進める。 	興味・関心 意欲・態度 知識・理解 ノート ワークブック	9
5月	古文入門 「絵仏師良秀」	<ul style="list-style-type: none"> ・古文の読解のために必要な基本的な思考概念理解し、読解につなげる。 ・古典文法における助動詞の基本を習得し、問題演習も通じて重点的に扱う。 ・発展的な内容を理解する・「主体的・対話的で深い学び」を通じて学習活動を進める。 ・「主体的・対話的で深い学び」を通じて学習活動を進める。 	意欲・態度 知識・理解 ノート ワークブック 小テスト 定期考査	9
6月	『伊勢物語』 「筒井筒」 漢文入門 「狐借虎威」	<ul style="list-style-type: none"> ・漢文の読解のために必要な基本的な思考概念を確認する。 ・古典文法における助動詞の基本を習得し、問題演習も通じて重点的に扱う。 ・発展的な内容を理解する・「主体的・対話的で深い学び」を通じて学習活動を進める。 ・「主体的・対話的で深い学び」を通じて学習活動を進める。 	興味・関心 意欲・態度 知識・理解 ノート ワークブック 小テスト	12
7月	『徒然草』 「ある人、弓射ることを習ふに」	<ul style="list-style-type: none"> ・古典文法における助動詞の基本を習得し、問題演習も通じて重点的に扱う。 ・古文の読解のために必要な基本的な思考概念を確認する。 ・発展的な内容の古文の読解を習得する。 	意欲・態度 知識・理解 ノート ワークブック 小テスト 定期考査	6
9月	「徒然草」 「臥薪嘗胆」	<ul style="list-style-type: none"> ・中国の史伝に特徴的な簡潔な表現を味わい、そこから生まれた故事成語・成句などを正しく理解する。 ・中国の歴史書の特徴である文学性を理解し、思考力や批判力を養う。 ・助動詞の知識を活用した読解の構造を理解する。 	興味・関心 意欲・態度 知識・理解 ノート ワークブック 小テスト	12
10月	「徒然草」 「漁父辞」	<ul style="list-style-type: none"> ・中国の代表的な文章を読み、現代にも通用する古代中国人のものの考え方を理解する。 ・作者の人生観や真情を理解する。 ・随筆を読んで、古文に親しむ。 ・話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・表現上の特色を理解し、優れた表現に親しむ。 	意欲・態度 知識・理解 ノート ワークブック 小テスト 定期考査	12
11月	『土佐日記』 「門出」「帰京」	<ul style="list-style-type: none"> ・日記を読んで、人間・社会などに対する作者の思想や感情を読み取る。 ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 ・文章の表現上の特色を理解する。 ・助動詞の識別や接続について理解する。 	興味・関心 意欲・態度 知識・理解 ノート ワークブック 小テスト	12
12月	漢詩 唐詩の世界	<ul style="list-style-type: none"> ・唐詩(絶句・律詩)の形式の特徴を理解する。 ・訓読したときのリズムを味わい、また、詩に表された心情を適切にとらえる。 	意欲・態度 知識・理解 ノート ワークブック 小テスト 定期考査	6
1月	『平家物語』 「木曾の最期」	<ul style="list-style-type: none"> ・比較的に長い古文の展開を読み取る力を養う。 ・敬語の種類や口語訳の方法を理解する。 ・軍記物語に描かれた武士の生き方やものの考え方の特色を理解する。 ・中世独自の語法・文法・表現などに注目する。 	興味・関心 意欲・態度 知識・理解 ノート ワークブック 小テスト	9
2月	『おくの細道』 「旅立ち」「平泉」 思想「論語」	<ul style="list-style-type: none"> ・俳諧紀行文を読んで、自然・人間などに対する作者の思想や感情を読み取る。 ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 ・俳文における発句の役割を理解する。 ・俳文の省筆の効果を理解する。 ・『論語』における孔子の考え方を理解する。 	興味・関心 意欲・態度 知識・理解 ノート ワークブック 小テスト	9
3月	思想「孟子」	<ul style="list-style-type: none"> ・中国の思想を代表する儒家思想の概略を捉える。 ・『論語』における孔子の考え方を理解する。 ・孔子・孟子の思想が、現代においてどのような意味を持っているかを考える。 	意欲・態度 知識・理解 ノート ワークブック 小テスト 定期考査	9

府中高等学校 令和3年度 年間授業計画

教科:(理科) 科目:(生物基礎) 対象:(第1学年 1組 ~ 7組) 2単位

教科担当者:

使用教科書:(改訂版 生物基礎(東京書籍))

使用教材:(リードLight/ノート生物基礎(数研出版)、ニューステージ生物図表(浜島書店))

	指導内容	科目「生物基礎」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定 時数
4月	始業式・(入学式)			
	・生物の多様性と共通性 細胞の種類 細胞の構造としくみ 細胞とエネルギー エネルギーと代謝 ATPの構造とはたらき	・細胞は原核細胞と真核細胞からなり、それぞれ特徴と働きがあることを理解できる ・原核細胞と真核細胞の構造の違いについて学び、細胞の進化と関連づける。 ・1つ1つの細胞内で様々な化学反応が日々体内で起きていることを知る。 ・ATPが生命活動のエネルギー物質として広く利用されている利点を理解する。 ・ATPの構造とエネルギーを貯めこんだり放出したりする仕組みについて理解する。	細胞の構造や特徴を様々な生物と照らし合わせて理解できたか。	6
5月	光合成のしくみ 呼吸のしくみ 代謝のしくみのまとめ	・光合成が行われることによって有機物が合成されるという仕組みを理解する。 ・酸素を利用する呼吸(好気呼吸)と酸素を利用しない呼吸(嫌気呼吸)の違いと仕組みについて理解する。 ・好気呼吸はミトコンドリアで行われ、有機物が分解されることでエネルギーを取り出すことを理解する。	代謝の仕組みについて、その手順を理解できたか。	6
	・遺伝現象と遺伝子	・遺伝子の発見や、遺伝子の特徴について理解する。		
6月	遺伝子としての特徴 DNAの構造とはたらき 遺伝情報の複製と分配 細胞周期とその長さ 遺伝情報の複製 遺伝情報の分配 遺伝情報とタンパク質合成 タンパク質の構造 転写と翻訳	・DNAの塩基配列の一部が遺伝情報になることを理解する。 ・ヌクレオチドの構造とDNAの塩基の相補性が複製や遺伝情報翻訳にどう利用されているかを理解する。 ・DNAを発見し、構造を解明した人物について学ぶ。 ・分裂を繰り返す体細胞では、体細胞分裂の前期と分裂期が交互に繰り返され、間期にDNAの複製が行われることを知る。 ・染色体の異常な構造とその発症を理解する。 ・細胞が分裂する際、細胞内の遺伝情報が完全に複製され、分配される必要がある。 ・細胞分裂時に染色体が分離することで、DNAが理論的に染色体に分配され、形質の遺伝が続くことを理解する。 ・タンパク質はアミノ酸が決められた配列に並んで立体構造をとったものであることを理解する。 ・熱に弱く、変性が起こるとそのはたらきを失うことを理解する。 ・DNAの遺伝情報をもとにどのようにして決められたタンパク質が合成されるか、その過程を学ぶ。	遺伝子は生物を構成する大切な情報であり、それを遺伝タンパク質などの高分子を作ることができるということを知ることができたか。	8
	遺伝子・染色体・DNA・ゲノム	・生物は、染色体内にある全ての配列(ゲノム)の情報から構成されている。生物にゲノムの違いがあり、また個体間でも差があることを学ぶ。	恒常性が行われる働きの1つとして、体液が体内に循環していることが大切であることを理解したか。	4
7月	代謝のしくみまとめ 映像または実験	期末考査 顕微鏡の使い方・観察 映像やICTを活用した授業 夏季休業		
	夏季休業	夏季休業 夏季休業 夏季休業 夏季休業 夏季休業		0
8月	夏季休業	夏季休業 夏季休業 夏季休業 夏季休業		0
	夏季休業	夏季休業 夏季休業 夏季休業		0
9月	・体液とその働き(続き) 体液の種類 血液のはたらき 血液の凝固 肝臓の循環 肝臓の構造とはたらき 体液の濃度調節 (無脊椎動物、魚類)	・体液は血液、リンパ液、組織液の3種からなり、それぞれ関わりながら体内の恒常性に関わっていることを学ぶ。 ・体液のひとつである血液のはたらきと、その中に含まれる有形成分の特徴について学ぶ。 ・酸素を運搬、供給は体内の場所によってははたらきが異なる。酸素解離曲線を読み取り、その意味を理解する。 ・血液の凝固の仕組みについて、怪我をしたときに挙げられる例を知り、理解する。 ・心臓によって血液の循環がなされ、血液の通り道となる動脈と静脈、毛細血管の違いについて学ぶ。 ・肝臓の様々な特徴とはたらきを体内環境の維持と関連させて学ぶ。	恒常性が働くには、体液の存在に加え肝臓や腎臓で体内環境を維持していることが大切であることを理解したか。	8
	腎臓の構造とはたらき (哺乳類) 哺乳類の体液の濃度調節 ・生体防御 免疫の種類 自然免疫	・殆どの生物は体液濃度の調節を腎臓で行っている。特に、哺乳類の腎臓の構造とはたらきについて学ぶ。 ・哺乳類の体液の濃度調節について尿の生成と濃縮率について例を挙げ、詳細に説明し、理解させる。 ・自然免疫と獲得免疫の特性の違いと進化を関連づけて説明できる。 ・自然免疫は、マクロファージの食作用によって即座に対応し、抗原を排除していることを理解する。	免疫の種類と働き方の違いについて理解できたか。	8
11月	獲得免疫 免疫による身近な疾患 免疫と医療 体内環境の維持のしくみ 自律神経系の構造とはたらき ホルモンの発見 様々な分泌腺とホルモン 血糖量の調節 体温の調節	・抗原抗体反応は特異的であることを理解する。 ・獲得免疫は体液性免疫と細胞性免疫の2種類がある。それぞれのはたらきの違いについて学ぶ。 ・免疫も過剰反応による疾患や、白血球がウイルスに感染することで引き起こされる疾患がある。アレルギーやエイズなどの疾患が起こる原因と体内で起こる現象について理解する。 ・自律神経(交感神経、副交感神経)が拮抗的にはたらきで体内の環境を維持している。神経系の分布とそれぞれの神経がはたらきで起こる生体の現象について学ぶ。 ・体内で分泌されるホルモンの種類とのはたらきについて学ぶ。 ・自律神経系とホルモンがはたらきで血糖量の調節や体温の調節などがなされている。詳しいはたらきやフィードバックについて学ぶ。	ホルモンは必ず標的器官があり、それだけ細かい働きがなされていることを理解できたか。 ホルモン調節の例として、血糖量の調節や体温の調節について理解できたか。	8
	・バイオーム(生物群系)についての特徴を学ぶ。 ・環境要因の例をあげ、その変化が植物が生育するのにおよぼす影響を理解する。	バイオームの定義とその特徴について理解したか。	4	
12月	・生物の多様性とバイオーム 気候とバイオーム 植生の成り立ち	期末考査 ・植物は地域や季節の変動によってその景観(相観)が変わる。□さらに、その植生に含まれる植物にどのようなものが含まれるか理解する。 終業式 冬季休業		
	様々な植生 植生の遷移 世界のバイオーム 日本のバイオーム	冬季休業 ・植生(森林、草原、荒原)の違いや分布する植物について学ぶ。 ・森林の階層構造を例に挙げ、具体的な植物の種類について知る。 ・遷移のモデル的過程を具体的な種名とともに理解する。 ・土壌形成などの生物の環境形成作用が遷移と深く関係していることを理解する。 ・世界は年間降水量と年平均気温によってバイオームが異なることを理解する。また、それぞれのバイオームにいる植物の具体例も紹介する。 ・日本では、降水量は十分にあるため、樹相は森林となる。 ・緯度で分類する水平分布と標高で分類する垂直分布によってバイオームが変化することを理解する。 ・生態系は生物のみで成り立っているのではなく、非生物的環境(空気、光、水など)が作用することによって成り立つことを理解させる。そして、生態系の中に生物の食物連鎖も成り立っていることを説明する。 ・生態系では、光合成・呼吸・食物連鎖・有機物の分解作用などの生命活動によって炭素や窒素が循環し、再利用されていることを理解する。 ・人為的な環境でも、生態系は年間を通じて大きく変化する。田畑の環境を例に挙げ、理解させる。	森林になる過程や、森林の種類や特徴を覚えて理解できたか。 日本の気候特徴から、どのようなバイオームがあるか理解できたか。	6
2月	・生態系 生態系の成り立ち 体内の物質循環とエネルギーの循環 生態系のバランスと保全 生態系のバランス 人間活動による生態系への影響 生態系の保全	・生態系は年間を通じて大きく変化する。田畑の環境を例に挙げ、理解させる。 ・全世界で、人為的な作用によって様々な環境の変化が懸念されている。ここでは、酸性雨・地球温暖化・水質汚染・生物濃縮・外来生物について簡潔に説明し、環境の保全について理解を深める。 ・生態系を維持するために、自然環境の保全が行われている。具体的な取り組みについてや、各国と結んだ条約などについて今後の環境のあり方を考える。	生態系は生物と非生物的環境の双方がないと成り立たないことを理解したか。 生態系のバランスが崩れてしまうと、どのような影響が生態系に表れるか理解できたか。	6
	答案返却・解説 実験・観察	・授業の余ったクラスは演習問題を行い復習および試験対策を行う。 学年末考査・卒業式予行・卒業式 ・授業の余ったクラスは顕微鏡を使用した観察を中心に実施する。また、必要に応じてICTを活用した授業も展開していく。 修了式 春季休業	1年間のまとめとして、実験の手順・観察方法についてマスターできているか。	6

府中高等学校 令和3年度 年間授業計画

教科:(数学) 科目:(数学Ⅰ) 対象:(第1学年1組 ~ 7組) 3単位

教科担当者:

使用教科書:(数学Ⅰ[数研出版])

使用教材:(4STEP 数学Ⅰ+A)

指導内容	科目「数学Ⅰ」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定 時数
4月 1章 数と式 1節 式と計算	始業式・入学式・オリエンテーション		7
	単項式、次数、係数、多項式、項、整式など、式についての用語の意味を理解する。また、特定の文字に着目することや、同類項、整式とその整理、次数、定数項など、整式を整理するなかで、式についての見方を豊かにする。 整式の加法・減法、指数法則、整式の乗法、多項式の乗法公式などの基本的な計算ができる。また、式の一部を1つの文字のようにみなしたり、積の順序を工夫するなど、見直しをもって能率よく計算ができる。 展開公式と関連させて、因数分解の公式が利用できる。また、式の一部を1つの文字のようにみなしたり、1つの文字について整理するなど、見直しをもって能率よく計算ができる。	[関] [見] [技] [知]	
5月 2節 実数	校外学習		10
	自然数、整数、有理数、無理数の意味がわかり、実数について理解する。また、絶対値の定義をもとに、絶対値記号を含む式の計算ができる。 根号を含む式の計算ができる。また、分母の有理化について理解し、基本的な計算ができる。	[関] [見] [技] [知]	
	中間考査	[定期考査]	
3節 1次不等式	不等式の意味を理解し、数量の間の大小関係を不等式で表すことができる。また、不等式の性質を正しく理解する。		
6月 3節 1次不等式 2章 集合と論証 1節 集合 2節 命題と論証	不等式の性質をもとに不等式の解を解くことの意味を理解し、1次不等式を解くことができる。 連立1次不等式について解くことができる。また、1次不等式を文章題に応用することができる。さらに、絶対値記号を含む方程式・不等式では数直線を活用した解法とその意味を理解する。	[関] [見] [技] [知]	11
	集合と要素、集合の表し方、部分集合について学び、図表示などを用いて集合の包含関係、共通部分と和集合・空集合について理解する。集合に関する記号を理解し、適切に使うことができる。補集合やド・モルガンの法則について、図表示による包含関係と関連づけて理解する。 命題と条件、必要条件、十分条件、必要十分条件などの用語の定義を学び、さらに、命題についての条件の否定とド・モルガンの法則を理解する。命題の逆、裏、対偶について理解し、対偶を利用した証明法や背理法による証明法を学び、論理的な思考力を身につける。		
7月 3章 2次関数 1節 関数とグラフ	期末考査		5
	互いに関連しながら変化するものとして、関数の概念を基本的な用語とともに確認・理解し、関数を表す記号 $y=f(x)$ を使える。また、定義域・値域や最大値・最小値の用語を身につける。	[関] [見] [技] [知] [定期考査]	
9月 1節 関数とグラフ	中学校で学んだ2乗に比例する関数の性質を復習し、それをもとに順次、2次関数について理解する。また、2次関数 $y=ax^2+bx+c$ を $y=a(x-p)^2+q$ の形に変形する平方完成を理解し、そのグラフを利用できる。		10
	2次関数の最大・最小について理解を深め、定義域に応じて、最大値や最小値を求めることができる。また、具体的な問題の解決に活用できる。 2次関数のグラフについて与えられた条件から、その2次関数を定められる。	[関] [見] [技] [知]	
10月 2節 2次方程式・2次不等式	因数分解や解の公式を用いて、2次方程式の解を求めることができる。また、 x の係数が偶数の場合の解の公式の適用について練習する。 2次方程式の実数解の個数と判別式 $D=b^2-4ac$ の符号との関係を理解する。 2次関数のグラフと x 軸の共有点と、判別式 D の符号との関係を理解する。	[関] [見] [技] [知] [定期考査]	12
	中間考査	[定期考査]	
11月 2節 2次方程式・2次不等式 4章 図形と計量 1節 鋭角の三角形	2次不等式を含む連立不等式を解くことができる。また、具体的な問題の解決に2次不等式を活用できる。 三角比としての正接の意味を理解し、 30° 、 45° 、 60° の正接の値を求め、活用できる。 正弦、余弦の意味を理解し、 30° 、 45° 、 60° の正弦、余弦の値を求め、活用できる。また、三角比の表を利用できる。 三角比の相互関係について理解する。 鈍角にまで拡張した三角比の定義を理解し、鋭角の場合と矛盾しないことを確認する。また、 0° 、 90° 、 180° の場合についての三角比も理解する。さらに、直線 $y=mx$ の傾き m と正接の関係について理解する。三角比の相互関係について理解を深め、それらを活用できる。	[関] [見] [技] [知]	13
	期末考査		
12月 3節 三角形への応用	三角形の辺と角の間の基本的な関係として正弦定理を理解し、活用できる。	[関] [見] [技] [知] [定期考査]	7
	終業式		
1月 3節 三角形への応用	余弦定理を理解し、三角形の辺と角の間の関係について理解を深める。また、既知の辺や角から残りの辺や角を求めることができる。 条件に応じて正弦定理や余弦定理を活用し、三角形の面積を求めることができる。また、円に内接する四角形の面積について考察する。 三角比を空間図形の計量に活用できる。	[関] [見] [技] [知]	10
	終業式		
2月 5章 データの分析 1節 データの整理と分析 2節 データの相関	データの特徴や傾向をとらえるために、データを整理することのよさを認識し、データを度数分布表やヒストグラムを用いて表すことができる。また、相対度数を求めることができる。 データの特徴を1つの数値で表すことの有用性を認識し、平均値、中央値、最頻値について理解する。データの特徴を詳しくとらえる方法として、四分位数、箱ひげ図を理解する。 範囲、四分位範囲、四分位偏差を理解し、箱ひげ図を用いてデータの分布のようすを視覚的に把握することができる。データの散らばり具合を数値で表すための方法として、偏差、分散、標準偏差を理解する。また、データをもとにそれらを求めることができる。 2つの変量の組を座標とする散布図をつくり、2つの変量の相関をとらえることができる。相関関係を1つの数値として表す方法として、相関係数を理解する。また、相関係数を求め、2つの変量の相関をとらえることができる。	[関] [見] [技] [知]	11
	学年末考査・卒業式予行・卒業式		
3月	問題演習	[関] [見] [技] [知]	6
	問題演習	[定期考査]	
	修了式		

府中高等学校 令和3年度 年間授業計画

教科:(数学) 科目:(数学A) 対象:(第1学年1組 ~ 7組) 2単位

教科担当者:

使用教科書:(数学A [数研出版])

使用教材:(4STEP 数学I+A)

	指導内容	科目「数学A」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
4月		始業式・入学式・オリエンテーション		5
	1章 場合の数と確率 1節 場合の数	和の法則、積の法則が成り立つのはどのような場面なのかを理解し、樹形図も利用しながらその総数を求めることができる。 順列の意味を理解し、その総数 P_n や階乗の計算ができる。また、円順列や重複順列について学習し、順列を使ったさまざまな考え方ができる。 問題演習	[関] [見] [技] [知]	
	1章 場合の数と確率 1節 場合の数	組合せの意味を理解し、その総数 C_n を、順列との関係によって求める筋道を示し、一般の場合の組合せの総数を求める公式を導くことができる。また、組合せの考え方を応用した応用問題を理解する。 問題演習	[関] [見] [技] [知]	
5月		中間考査・校外学習	[定期考査]	8
	2節 確率とその基本性質	試行と事象、事象の確率について学び、確率の意味を知り、不確定な事象を数量的にとらえることの有用性を認識する。		
6月		積事象・和事象、排反事象、確率の基本性質、確率の加法定理、和事象の確率、余事象とその確率について、集合と関連づけながら学び、数学のよさに触れる。		8
	3節 いろいろな確率	独立な試行の確率について、具体例を通してその意味を理解する。 独立な試行の典型的な例であり、最も重要な例でもある反復試行の確率を理解する。このとき、組合せを用いることを納得する。 条件つき確率と確率の乗法定理の学習を通して、具体的な事象を数学的に考察し、処理する力を伸ばす。	[関] [見] [技] [知]	
		期末考査		
7・8月	3章 図形の性質 1節 三角形の性質	中学校で学んだ三角形と比の定理と、その特別な場合としての中点連結定理を復習し、基本性質をもとに徐々に証明のしかたを身につける。また、三角形の内角の二等分線と比、外角の二等分線と比の定理を理解し、それらの逆も成り立つことを理解する。	[関] [見] [技] [知] [定期考査]	4
		終業式		
8・9月	3章 図形の性質 1節 三角形の性質	中学校で学んだ三角形と比の定理と、その特別な場合としての中点連結定理を復習し、基本性質をもとに徐々に証明のしかたを身につける。また、三角形の内角の二等分線と比、外角の二等分線と比の定理を理解し、それらの逆も成り立つことを理解する。 三角形の重心・外心・垂心・内心の存在とその証明を理解する。また、外接円、内接円との関係を理解する。 チェバの定理とその逆、メネラウスの定理とその逆を理解し、活用できる。	[関] [見] [技] [知]	7
	2節 円の性質	円の基本性質と円周角の定理やその特別な場合である直径と円周角の定理、さらに、円周角の定理の逆が成り立つことなどの復習を通して、論理的な思考力を養う。 円に内接する四角形の定理と四角形の外接条件の定理を理解し、活用しながら図形に対する直観力・洞察力を養うとともに、図形の性質を論理的に考察し、的確に表現する能力を身につける。 問題演習	[関] [見] [技] [知] [定期考査]	
	2節 円の性質	円と接線に関する基本的な性質を復習する。さらに、接線と弦のつくる角の定理の証明をさまざまな方法で考え、図形に対する洞察力を豊かにする。		
10月	2節 円の性質	円と点の位置関係が異なっても方べきの定理が成り立つことを理解し、図形に対する能力をさらに伸ばす。 2つの円の位置関係を理解し、そこに現れる図形の性質について証明し、図形に対する見方を豊かにする。	[関] [見] [技] [知]	9
	3節 作図 4節 空間図形	中学校において学習した基本的な作図や、平行四辺形の成立条件や三角形と比の性質をもとに、平行な直線や線分の内分点・外分点などを作図できる。 長さ1の大きさの線分が与えられたとき、2数の積や商および平方根などを、図形の性質を利用して作図で表現できる。 中学校において学習した空間における直線や平面の位置関係を踏まえ、三垂線の定理などを扱い、図形の性質を論理的に考察することができる。オイラーの多面体定理などの多面体の基本的な性質を理解する。	[関] [見] [技] [知]	
12月		期末考査		5
	2章 整数の性質 1節 約数と倍数	整数に関する約数や倍数の基本的な用語の意味を理解し、倍数を見分けたり、素因数分解によって約数を求めたりすることができる。 終業式	[関] [見] [技] [知] [定期考査]	
	1節 約数と倍数	素因数分解を用いて最大公約数や最小公倍数を求めることができるとともに、最大公約数と最小公倍数の関係を理解する。		
1月	2節 ユークリッドの互除法と不定方程式	整数の除法の性質を理解するとともに、割り算の余りによる整数の分類を利用し、整数の性質を考察する。 整数の除法の性質に基づいてユークリッドの互除法の仕組みを理解し、それを用いて2つの整数の最大公約数を求めることができる。 2元1次不定方程式の解の意味を理解し、未知数の係数が互いに素となる簡単な場合についてユークリッドの互除法を活用するなどして、解を求めることができる。	[関] [見] [技] [知]	6
	3節 整数の性質の活用	身近に使用している10進法をもとに数の仕組みを理解し、2進法や3進法などを用いて数を自由に表記できる。また、2進法における加法・減法・乗法などの計算を、10進法と同じように扱うことができる。 分数が有限小数または循環小数で表される仕組みを理解し、整数の様々な事象の考察に活用できる。 問題演習	[関] [見] [技] [知]	
		学年末考査・卒業式予行・卒業式		
3月		問題演習	[関] [見] [技] [知] [定期考査]	5
		問題演習		
		修了式		

府中高等学校 令和3年度 年間授業計画

教科:(理科) 科目:(化学基礎) 対象:(第1学年1組 ~7組) 2単位

教科担当者:

使用教科書: 化学基礎(東京書籍)

使用教材: ゼミナル化学基礎(浜島書店) ニューステージ新化学図表(浜島書店)

指導内容	科目「化学基礎」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定 時数
始業式・入学式 第1部 化学と人間生活 第1章 化学と私たちの生活 混合物・純物質 【実験: 混合物の分離・確認】 元素・単体・化合物 粒子の熱運動と物質の状態 第2部 物質の構成 第1章 物質の構成粒子 原子の構造と電子配置 【実験 アルカリ金属】 イオンの生成、元素の周期表 中間考査 中間考査・校外学習 イオン結合 【実験 電気伝導性】	・ある混合物を分離するのに、ろ過、蒸留、抽出、再結晶及びクロマトグラフィーの中から、適切な方法を選ぶことができる。 ・ろ過、蒸留、抽出、再結晶及びクロマトグラフィーの実験を行い、基本操作を習得するとともに、結果を記録できる。 ・炎色反応や沈殿反応から成分元素を特定できる。 ・身の回りの物質を、単体・化合物・混合物に分類することができる。 ・身の回りの物質を、単体・化合物・混合物に分類することができる。 ・同素体とは何かを理解し、代表的な同素体の名称を挙げることができる。 ・物質を構成する粒子は熱運動しており、温度が高くなると熱運動が激しくなることを理解する。 ・物質の状態は、粒子の熱運動及び粒子間に働く力の大小で決まることを理解する。 ・物理変化と化学変化の違いについて理解する。 ・絶対温度について理解し、絶対温度とセルシウス温度を相互に換算できる。 ・原子と原子核の大きさを適切に表現できる。 ・陽子・中性子・電子の電荷及びそれらの質量比について理解する。 ・原子番号や質量数から陽子・中性子・電子の数を求めることができる。 ・放射性同位体の日常生活における利用例について知る。 ・原子番号20までの元素記号が書ける。 ・電子殻について理解し、原子番号20までの原子の電子配置を、電子殻を用いて表現できる。 ・イオン化エネルギーなどの元素の周期律と価電子数の変化との関係を理解する。 ・単原子イオンの生成を電子配置から説明できる。	関心・意欲・態度、思考・判断、観察・実験の技能・表現、知識・理解 授業への取り組み、家庭学習等の学校からの課題の取り組み、Classiによる動画の配信閲覧、ノート、実験レポート	12
第2章 化学結合 共有結合 共有結合 【実験 気体の発生と性質】 金属結合 金属結合	・イオン結合は、陽イオンと陰イオンの静電的な引力で生じることを理解し、一般に金属元素と非金属元素はイオン結合を作りやすいことを知る。 ・電子式と構造式を使って、分子を表現できる。 ・価電子と、共有電子対・非共有電子対について理解する。 ・NH ₃ を例として配位結合ができる仕組みを理解する。 ・結合の極性が生じる理由について理解する。 ・代表的な共有結合の結晶及び高分子化合物の構造と用途を知る。 ・自由電子は、価電子が原子に共有されたものであることを理解する。 ・金属の電気伝導性・熱伝導性・展性・延性等の性質は、自由電子が関係していることを理解する。	関心・意欲・態度、思考・判断、観察・実験の技能・表現、知識・理解 授業への取り組み、家庭学習等の学校からの課題の取り組み、Classiによる動画の配信閲覧、ノート、実験レポート	6
金属結合 期末考査 期末考査 第3部 物質の変化 第1章 物質と化学反応式 原子量 まとめ 終業式	・代表的な合金の名前と用途及び合金にした方が有利である理由を知る。 ・アボガドロの法則を理解し、気体の体積・物質質量・粒子数・気体の質量の変換ができる。 1学期の復習を行う。	関心・意欲・態度、思考・判断、観察・実験の技能・表現、知識・理解 授業への取り組み、ノート、実験レポート 定期考査	8
始業式 第3部 物質の変化 第1章 物質と化学反応式 分子量 文化祭準備・文化祭 式量 【実験 気体の分子量】 物質質量 物質質量	・アボガドロの法則を理解し、気体の体積・物質質量・粒子数・気体の質量の変換ができる。 ・溶質の質量と溶液の質量から重量パーセント濃度を求めることができる。溶質の質量と溶液の体積からモル濃度を求めることができる。 ・相対質量と原子量について理解し、相対質量と存在比から原子量を求めることができる。 ・与えられた原子量を用いて分子量・式量を求めることができる。 ・物質質量と質量の関係を理解し換算ができる。	関心・意欲・態度、思考・判断、観察・実験の技能・表現、知識・理解 授業への取り組み、ノート、実験レポート	10
第1章 物質と化学反応式 化学反応式 化学反応式の量的関係 【実験 量的関係】 中間考査 第2章 酸と塩基	・反応物と生成物が分子式やイオン式で与えられているとき、化学反応式を書くことができる。 ・化学反応式の係数比が物質質量比に対応していることを理解する。 ・化学反応式から、物質の質量・物質の体積を求めることができる。 ・酸と塩基の定義(アレニウス)を理解する。	関心・意欲・態度、思考・判断、観察・実験の技能・表現、知識・理解 授業への取り組み、ノート、実験レポート 定期考査	8
酸と塩基 酸と塩基 【実験 酸・塩基】 水の電離・pH 酸と塩基の中和 中和反応の量的関係 【実験 中和滴定】	・酸と塩基の定義(ブレンステッド・ローリの定義)を理解する。 ・代表的な酸と塩基の価数と強弱を答えることができる。 ・水素イオン濃度とpHの関係について理解する。 ・中和反応、中和点の意味について理解する。 ・酸と塩基からできる塩の組成式を書くことができ、それらの水溶液の性質を理解する。 ・水溶液中の反応において、中和反応の量的関係が計算できる。	関心・意欲・態度、思考・判断、観察・実験の技能・表現、知識・理解 授業への取り組み、ノート、実験レポート	10
期末考査 期末考査 第3章 酸化還元反応 酸化と還元 酸化と還元 酸化と還元 終業式	・酸素・水素・電子を含む反応式を見て、物質が酸化されているか、還元されているかを判断できる。 ・酸素・水素・電子を含む反応式を見て、物質が酸化されているか、還元されているかを判断できる。 ・酸素・水素・電子を含む反応式を見て、物質が酸化されているか、還元されているかを判断できる。	関心・意欲・態度、思考・判断、観察・実験の技能・表現、知識・理解 授業への取り組み、ノート、実験レポート 定期考査	8
始業式 酸化と還元 第3章 酸化還元反応電子を含むイオン反応 酸化剤と還元剤 【実験 酸化・還元】 推薦入試 酸化剤と還元剤	・酸化還元反応の化学反応式を見て、酸化数の変化から酸化か、還元かを判断することができる。 ・酸化剤、還元剤について理解し、化学反応式から、酸化剤、還元剤として働いているそれぞれの物質を判断できる。 ・酸化剤、還元剤について理解し、化学反応式から、酸化剤、還元剤として働いているそれぞれの物質を判断できる。	関心・意欲・態度、思考・判断、観察・実験の技能・表現、知識・理解 授業への取り組み、ノート、実験レポート	8
合唱祭 金属の酸化還元反応 イオン化傾向 【実験 イオン化傾向】 電池 【実験 電池】 一次入試 酸化還元反応と人間生活 【実験】	・金属のイオン化傾向について理解し、金属と酸素・水・酸との反応について理解する。 ・電池の原理について、酸化還元反応と関連付けて理解する。 ・金属やプラスチックは、それらの特性を生かして加工され利用されていることを理解する。 ・使用済みの金属やプラスチックが、回収後、再利用されるまでの過程を理解する。	関心・意欲・態度、思考・判断、観察・実験の技能・表現、知識・理解 授業への取り組み、ノート、実験レポート	8
まとめ 学年末考査・卒業式予定・卒業式 まとめ まとめ 修了式	1年間の復習を行う。 1年間の復習を行う。 1年間の復習を行う。	関心・意欲・態度、思考・判断、観察・実験の技能・表現、知識・理解 授業への取り組み、ノート、実験レポート 定期考査	2

府中高等学校 令和3年度 年間授業計画

教科:(地歴) 科目:(地理A) 対象: 第(1)学年(1)組 ~ (7)組 (2)単位

教科担当者:

使用教材 : (基本地理A、基本地図帳、新詳地理資料COMPLETE2020))

	指導内容	科目「地理A」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
4月		始業式・入学式・オリエンテーション	【関意】【判表】 作業プリント	5
	日本の47都道府県の特徴とその位置	日本の47都道府県の自然環境・文化遺産、名産などを紹介し、地理情報と都道府県名を結びつける。また、その位置も確認させる。		
	地球儀と地図	地球上の位置を表す緯度・経度の復習、動画地理を使用し、地球の自転・公転をイメージさせる 図法とその利用について、特にメルカトル図法と正距方位図法を比較しながら整理する		
5月	世界地図上の方位と時差	地球上の方位と位置の違いによる時差を体感する。	【知理】 小テスト 【技】 作業プリント 【関意】	5
	国家の領域	国家の要素、国境の例を具体的に挙げながら整理。日本の領域や周辺国との関係について把握		
	強まる世界との結びつき	中間考査 主な政治・経済的な結びつきを地図上で押さえる。 中間考査・校外学習		
6月	世界の地形	世界の地形や気候が人びとの生活にどのように影響しているのかを考察する。	【関意】 作業プリント	9
	身近な地形	東京都の地形の成り立ちを俯瞰する		
	世界の気候	世界の気候が人びとの生活にどのように影響しているのかを考察する。 水と人びとの生活の関係を考える。		
7月	地域調査	期末考査 期末考査 終業式	【関意】 【技】	3
9月	世界の民族と宗教	世界の人びとの多様な文化を知り、それぞれの文化を尊重する姿勢を身に付ける	【知理】 作業プリント	5
	東アジアの人びとの暮らし	東アジアの自然と生活文化の多様性と共通性を理解する。		
	1 東アジアの多様性と共通性 2 中国のあゆみと人びとの生活の変化 3 「世界の工場」中国	中国の経済発展と生活の変化を考える。中国工業の「世界の工場」化と広がる地域格差を知る		
10月	4 農村の変化と広がる経済格差 5 韓国社会の変化		定期考査	6
	東南・南アジアの人びとの暮らしと生活	モンスーンの人びとの生活に与える影響について考える。		
	1 東南・南アジアの自然と宗教 2 ヒンドゥー教徒の暮らし	中間考査 ヒンドゥー教徒の暮らしからインドの多様性を理解する。		
11月	3 東南・南アジアの農業・漁業 4 ASEANの経済発展 5 インドの経済発展と産業		【知識】 作業プリント	7
	中央・西アジア、北	乾燥地域の自然環境と人びとの暮らしについて、ムスリムの生活から特徴を知る。		
	1 中央・西アジア、北アフリカの自然と宗教	期末考査 期末考査 世界経済に影響する石油資源の重要性を考える。		
12月	2 石油資源に恵まれる地域 3 西アジア、北ア	パレスチナ紛争など紛争地域の特徴を理解する。	【知理】【思判表】 定期考査	5
		終業式		
1月	4 ユーラシア大陸を東西につなぐ中央アジア		【知識】 作業プリント	3
	中・南アフリカの人びとの暮らし	中・南アフリカの自然と生活・文化の特徴を理解する。		
	1 中・南アフリカの自然と生活・文化 2 一次産品依存の農業からの脱却 3 グローバル化と資源	豊かな資源に恵まれるアフリカと資源争奪の実態を知る。		
2月	4 アバルトヘイト後の南アフリカ共和国	アバルトヘイト後の南アフリカ共和国の現状に触れる。	【知識】【理解】 作業プリント	7
	ヨーロッパとロシアの人びとの暮らし	ヨーロッパの特徴ある氷河地形や気候区分、キリスト教の影響が大きい文化などを知る。		
	1 ヨーロッパの自然環境と民族・宗教 2 結びつきを強めるヨーロッパ 3 ヨーロッパの産業 4 東ヨーロッパ諸国	EUにみられる結びつきを強めるヨーロッパの課題、さまざまな民族問題、社会主義後の東ヨーロッパとロシアについて理解を深める。		
3月	北アメリカの人びとの暮らし	雄大な地形と多様な気候、ネイティブアメリカンと多様な民族からなる北アメリカの課題を知る。	【知識】【思考・判断】 学年末考査	3
	1 多様な北アメリカの自然環境 2 多様な民族からなる北アメリカ 3 世界規模のアメリカ農業と関連事業 4 アメリカの工業と	学年末考査・卒業式予行・卒業式 世界の食料庫であり、最先端技術工業国というアメリカの産業力について理解する。 修了式		

府中高等学校 令和3年度 年間授業計画

教 科：保健体育 科 目：1年体育女子 単位数：3単位
 対象学年組：第1学年1組～7組(女子)
 教科担当者：
 使用教科書：(現代高等保健体育)
 使用教材：(ステップアップ高校スポーツ)

	指導内容	科目「体育女子」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	担当時数
4月	オリエンテーション 陸上(ハードル)・体づくり 陸上(短距離・リレー)・体づくり ダンス	体育の授業に対する心構え、体育施設の使用の仕方、安全・事故防止に対する注意喚起。 ハードルの総合的練習と計測 短距離種目の計測 エアロビクス運動の習得(回す、屈伸、跳ぶ、ステップ、倒す、バランス、波動、連続した動きなど)	関心・意欲・態度、思考・判断、知識・理解を基本とし、学習の到達度を適切に評価する。 出席状況、記録	9
5月	陸上(ハードル)・体づくり 陸上(短距離・リレー)・体づくり ダンス	ハードルの総合的練習と計測 短距離種目の計測 エアロビクス運動の習得(回す、屈伸、跳ぶ、ステップ、倒す、バランス、波動、連続した動きなど)	関心・意欲・態度、思考・判断、知識・理解を基本とし、学習の到達度を適切に評価する。 出席状況、記録	9
6月	陸上(ハードル)・体づくり 陸上(短距離・リレー) ダンス 体カテスト 体育理論	ハードルの総合的練習と計測 短距離種目の計測 エアロビクス運動の習得(回す、屈伸、跳ぶ、ステップ、倒す、バランス、波動、連続した動きなど) 「運動・スポーツの文化的特長」を理解させる。	関心・意欲・態度、思考・判断、知識・理解を基本とし、学習の到達度を適切に評価する。 出席状況、記録	12
7月	水泳 ダンス 体カテスト 体育理論	4泳法の習得 エアロビクス運動の習得(回す、屈伸、跳ぶ、ステップ、倒す、バランス、波動、連続した動きなど) 「運動・スポーツの文化的特長」を理解させる。	関心・意欲・態度、思考・判断、知識・理解を基本とし、学習の到達度を適切に評価する。 出席状況、記録	9
8月				
9月	水泳 バスケットボール ダンス(創作) バレーボール 体育理論	4泳法の習得 バスケットボールの基本技能の習得 テーマからイメージを膨らませ、思い浮かぶ動きを表現する。 バレーボールの基本技能の習得 「運動・スポーツの文化的特長」を理解させる。	関心・意欲・態度、思考・判断、知識・理解を基本とし、学習の到達度を適切に評価する。 出席状況、記録、スキルテスト	10
10月	バスケットボール ダンス(創作) バレーボール 体育理論	バスケットボールの基本技能の習得 テーマからイメージを膨らませ、思い浮かぶ動きを表現する。 バレーボールの基本技能の習得 「運動・スポーツの文化的特長」を理解させる。	関心・意欲・態度、思考・判断、知識・理解を基本とし、学習の到達度を適切に評価する。 出席状況、記録	10
11月	バスケットボール ダンス(創作) バレーボール 体育理論	バスケットボールの基本技能の習得とゲームをできるようにする。 テーマからイメージを膨らませ、思い浮かぶ動きを表現する。 バレーボールの基本技能の習得とゲームをできるようにする。 「運動・スポーツの文化的特長」を理解させる。	関心・意欲・態度、思考・判断、知識・理解を基本とし、学習の到達度を適切に評価する。 出席状況、記録	12
12月	バスケットボール ダンス(創作) バレーボール 体育理論	ゲームをできるようにする。スキルテストを実施する。 作品を発表させるとともに、グループの発想や動きの良さを互いに評価させる。 ゲームをできるようにする。スキルテストを実施する。 「運動・スポーツの文化的特長」を理解させる。	関心・意欲・態度、思考・判断、知識・理解を基本とし、学習の到達度を適切に評価する。 出席状況、記録、スキルテスト	9
1月	卓球 陸上(持久走) 体育理論	卓球の基本技能の習得 時間走・距離層・ベース走による持久力の向上 「運動・スポーツの学び方」を理解させる。	関心・意欲・態度、思考・判断、知識・理解を基本とし、学習の到達度を適切に評価する。 出席状況、記録	9
2月	卓球 陸上(持久走) 体育理論	卓球の基本技能の習得とゲームをできるようにする。 時間走・距離層・ベース走による持久力の向上、記録・計測 「運動・スポーツの学び方」を理解させる。	関心・意欲・態度、思考・判断、知識・理解を基本とし、学習の到達度を適切に評価する。 出席状況、記録	9
3月	卓球 陸上(持久走) 体育理論	ゲームをできるようにする。スキルテストを実施する。 時間走・距離層・ベース走による持久力の向上、記録・計測 「運動・スポーツの学び方」を理解させる。	関心・意欲・態度、思考・判断、知識・理解を基本とし、学習の到達度を適切に評価する。 出席状況、記録、スキルテスト	9

府中高等学校 令和3年度 年間授業計画

教 科：保健体育 科 目：1年体育男子 単位数：3単位

対象学年組：第1学年1組～7組（男子）

教科担当者：

使用教科書：（現代高等保健体育）

使用教材：（ステップアップ高校スポーツ）

	指導内容	科目「体育男子」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
4月	オリエンテーション	体育の授業に対する心構え、体育施設の使用の仕方、安全・事故防止に対する注意喚起。	関心・意欲・態度、思考・判断、知識・理解を基本とし、学習の到達度を適切に評価する。 出席状況、記録	9
	陸上（短距離・リレー）・体づくり	短距離種目の計測		
	バスケットボール	バスケットボールの基本技能の習得		
	バレーボール	バレーボールの基本技能の習得		
	体育理論	「運動・スポーツの文化的特長」を理解させる。		
5月	陸上（短距離・リレー）・体づくり	短距離種目の計測	関心・意欲・態度、思考・判断、知識・理解を基本とし、学習の到達度を適切に評価する。 出席状況、記録	9
	バスケットボール	バスケットボールの基本技能の習得		
	バレーボール	バレーボールの基本技能の習得		
	体育理論	「運動・スポーツの文化的特長」を理解させる。		
6月	陸上（短距離・リレー）・体づくり	短距離種目の計測。	関心・意欲・態度、思考・判断、知識・理解を基本とし、学習の到達度を適切に評価する。 出席状況、記録	12
	バスケットボール	バスケットボールの基本技能の習得		
	バレーボール	バレーボールの基本技能の習得		
	体育理論	「運動・スポーツの文化的特長」を理解させる。		
7月	水泳	4泳法の習得	関心・意欲・態度、思考・判断、知識・理解を基本とし、学習の到達度を適切に評価する。 出席状況、記録	9
	体育理論	「運動・スポーツの文化的特長」を理解させる。		
8月				
9月	水泳	4泳法の習得	関心・意欲・態度、思考・判断、知識・理解を基本とし、学習の到達度を適切に評価する。 出席状況、記録	10
	陸上（ハードル）・体づくり	ハードルの総合的練習と計測。		
	ソフトボール	ソフトボールの基本技能の習得		
	サッカー	サッカーの基本技能の習得		
	体育理論	「運動・スポーツの文化的特長」を理解させる。		
10月	陸上（ハードル）・体づくり	ハードルの総合的練習と計測。	関心・意欲・態度、思考・判断、知識・理解を基本とし、学習の到達度を適切に評価する。 出席状況、記録	10
	ソフトボール	ソフトボールの基本技能の習得とゲームをできるようにする。		
	サッカー	サッカーの基本技能の習得とゲームをできるようにする。		
	体育理論	「運動・スポーツの文化的特長」を理解させる。		
11月	陸上（ハードル）・体づくり	ハードルの総合的練習と計測。	関心・意欲・態度、思考・判断、知識・理解を基本とし、学習の到達度を適切に評価する。 出席状況、記録	12
	ソフトボール	ソフトボールの基本技能の習得とゲームをできるようにする。		
	サッカー	サッカーの基本技能の習得とゲームをできるようにする。		
	体育理論	「運動・スポーツの文化的特長」を理解させる。		
12月	陸上（ハードル）・体づくり	ハードルの総合的練習と計測。	関心・意欲・態度、思考・判断、知識・理解を基本とし、学習の到達度を適切に評価する。 出席状況、記録、スキルテスト	9
	ソフトボール	ゲームをできるようにする。スキルテストを実施する。		
	サッカー	ゲームをできるようにする。スキルテストを実施する。		
	体育理論	「運動・スポーツの文化的特長」を理解させる。		
1月	バスケットボール	チームで作戦を立て、レベルの高いゲームをできるようにする。	関心・意欲・態度、思考・判断、知識・理解を基本とし、学習の到達度を適切に評価する。 出席状況、記録	9
	陸上（持久走）	時間走・距離層・ペース走による持久力の向上、記録・計測		
	体育理論	「運動・スポーツの文化的特長」を理解させる。		
2月	バスケットボール	チームで作戦を立て、レベルの高いゲームをできるようにする。	関心・意欲・態度、思考・判断、知識・理解を基本とし、学習の到達度を適切に評価する。 出席状況、記録	9
	陸上（持久走）	時間走・距離層・ペース走による持久力の向上、記録・計測		
	体育理論	「運動・スポーツの文化的特長」を理解させる。		
3月	バスケットボール	チームで作戦を立て、レベルの高いゲームをできるようにする。	関心・意欲・態度、思考・判断、知識・理解を基本とし、学習の到達度を適切に評価する。 出席状況、記録	9
	陸上（持久走）	時間走・距離層・ペース走による持久力の向上、記録・計測		
	体育理論	「運動・スポーツの文化的特長」を理解させる。		

府中等学校 令和3年度 年間授業計画

教 科：保健体育 科 目：保健 単位数： 1単位

対象学年組：第2学年1組～7組

教科担当者：

使用教科書：（現代高等保健体育

使用教材：（図説現代高等保健

	指導内容	科目「保健」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
4月	オリエンテーション	保健の単元について		3
	歴史からみたさまざまな健康のとらえ方	健康とは何かを考えるために、人々が今まで健康をどのように考えてきたかを学ぶ。	関心・意欲・態度思考・判断 ワークシート・授業ノートの点検	
	体のつくりと働き	人間の体のつくりについて理解する。特に「骨格系」「筋肉系」について各部位の名称を理解する。		
5月	私たちの健康のすがた	生涯を通じた健康づくりを進めていくために、私たちの健康のすがたを正しくとらえる。		4
	健康のとらえ方	「健康とは何か」という答えを生徒自身が見つける。	関心・意欲・態度思考・判断 ワークシート・授業ノートの点検	
	健康と意思決定・行動選択	健康の保持増進には、健康に関する個人の適切な意志決定や行動選択および環境づくりがかかわることを理解する。		
6月	健康に関する環境づくり	「ヘルスプロモーション」の考え方を理解する。		4
	生活習慣病とその予防	生活習慣病の発病や進行の概要について理解し、発病を未然に防ぐことについての理解を深める。	関心・意欲・態度思考・判断 ワークシート・授業ノートの点検	
	食事と健康	具体的にどのような食事や食生活のあり方が健康に望ましいかを理解する。		
	運動と健康	健康からみた運動の意義を学び、健康のための運動、将来にわたり運動を継続していくためには何か必要かを理解する。		
7月	期末考査	各単元の学習内容をどの程度理解したのか確認する。		4
	答案返却・まとめ	1学期の学習内容を復習し、健康の保持増進の意識をもてたかを確認する。	思考・判断 テストによる知識理解 ワークシート・授業ノートの点検	
9月	休養・睡眠と健康	現代社会におけるより良い休養・睡眠のあり方について理解する。		4
	喫煙と健康	科学的知識はもとより、たばこのない社会の実現には個人および社会全体での取り組みが重要であることを理解する。	関心・意欲・態度思考・判断 ワークシート・授業ノートの点検	
	喫煙と健康	科学的知識はもとより、たばこのない社会の実現には個人および社会全体での取り組みが重要であることを理解する。		
	飲酒と健康	飲酒による健康への短期的影響、長期的影響について理解し、また、飲酒による社会問題についても問題意識を高める。		
	飲酒と健康	飲酒による健康への短期的影響、長期的影響について理解し、また、飲酒による社会問題についても問題意識を高める。		
10月	薬物乱用と健康	薬物乱用が心身の健康におよぼす深刻な悪影響を理解するとともに、個人として絶対におこなってはならず、社会としても許してはならないことを理解する。		4
	現代の感染症	感染症の流行の背景には自然環境や社会環境の変化がかかわっていることを理解する。	関心・意欲・態度思考・判断	
	感染症の予防	感染症の予防は、一人ひとりの適切な行動が社会全体を感染症の流行から守ることにつながるということを理解する。	ワークシート・授業ノートの点検	
	性感染症・エイズとその予防	性感染症およびエイズについて基本的知識を学び、それらの予防対策を個人および社会の両面から理解する。		
11月	欲求と適応機制	欲求が満たされない場合の心の変化や適応機制の働きを理解する。		4
	心身の相関とストレス	精神と身体には密接な関連があることや、ストレスについては科学的なメカニズムを理解する。	関心・意欲・態度思考・判断	
	ストレスへの対処	心の健康な状態を保持増進し、自分らしい生活をしていくために、ストレス対処と自己実現を学んでいく。	ワークシート・授業ノートの点検	
	心の健康と自己実現	豊かで健康的に過ごすために、何をすればいいか考える。		
	心の健康と自己実現	豊かで健康的に過ごすために、何をすればいいか考える。		
12月	期末考査	各単元の学習内容をどの程度理解したのか確認する。		2
	答案返却・まとめ	2学期の学習内容を復習し、健康の保持増進の意識をもてたかを確認する。	思考・判断 テストによる知識理解 ワークシート・授業ノートの点検	
1月	交通事故の現状と要因	交通事故の現状と要因について理解する。		4
	交通社会における運転者の資質と責任	交通事故を防ぐために、運転者として必要な資質と責任があることを学ぶ。	関心・意欲・態度思考・判断 ワークシート・授業ノートの点検	
	安全な交通社会づくり	交通事故防止の重要な対策である安全な交通社会づくりについて理解する。		
2月	応急手当の意義とその基本	応急手当の意義を学び、けが人や急病人を発見した際に自分たちにできることや、手当ての基本的な手順を理解する。		3
	心配蘇生法	心配蘇生法の正しい技術を理解する。	関心・意欲・態度思考・判断	
3月	心配蘇生法実習	正確な心配蘇生法の習得を目指す。	ワークシート・授業ノートの点検	3
	日常的な応急手当	実習などをおこないながら理解を深める。また、熱中症については適切な判断と応急手当の方法を身につけさせ、その予防にも心がける必要性を理解する。		
3月	学年末考査	各単元の学習内容をどの程度理解したのか確認する。		3
	答案返却・まとめ	1年間の学習内容を復習し、健康の保持増進の意識をもてたかを確認する。	思考・判断 テストによる知識理解 ワークシート・授業ノートの点検	

府中高等学校 令和3年度 年間授業計画

教科:(音楽) 科目(音楽Ⅰ) 対象:(第1学年 1組 ~ 7組) 2単位

教科担当者:

使用教科書:(教育芸術社 MOUSA1)

使用教材:(教育出版 ミュージックノート)

	指導内容	科目「音楽Ⅰ」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定 時数
4月		始業式・入学式・オリエンテーション	イタリア語の発音と、正しい発声法を身につけられたか。 ノート提出	6
	発声法基礎 校歌・O Sole Mio 音名、音部記号、音価	正しい姿勢、呼吸、発声の基礎を学ぶ。 イタリア語の発音に慣れて、のびのびとした発声で歌う。 音楽の基礎知識を学習する		
5月	発声法基礎 A Whole new world 野菜の気持ち	正しい姿勢、呼吸、発声の基礎を学ぶ。 英語の発音に慣れて、表現豊かに歌う。 仲間と協力し、楽典で学習したことを応用しながら生き生きとグループ活動する	英語の発音と、正しい発声法を身につけられたか。 ノート提出	6
		中間考査・校外学習		
6月	カンツォーネ、シャンソン、ミュージカルナンバー 音名、音部記号、音価 ヴォイスアンサンブル	正しい姿勢、呼吸、発声の基礎を学ぶ。 音楽の基礎的な事柄を理論的に整理して学習する 発表会にむけて、仲間と協力し、楽典で学習したことを応用しながら生き生きとグループ活動する 「野菜の気持ち」発表会	パート練習を他の生徒と協力をして、自主的な練習ができたか。 小テスト 実技テスト	8
		期末考査		
7月	一学期のまとめ	歌唱		2
		終業式		
9月	アルトリコーダー二重奏 モーツァルトについて	C,F,Gの音階の連指を習得する。楽譜に慣れ、自らの力で読譜できるようになる。きれいな音で表現できるようになる モーツァルトの人生を辿りながら、当時の音楽様式や作品を学ぶ	集中して演習できているか 集中して鑑賞できているか プリント提出	6
10月	アルトリコーダー二重奏 モーツァルトについて	C,F,Gの音階の連指を習得する。楽譜に慣れ、自らの力で読譜できるようになる。きれいな音で表現できるようになる モーツァルトの人生を辿りながら、当時の音楽様式や作品を学ぶ	意欲をもって、実技課題に取り組めたかどうか。 集中して鑑賞できたか。 プリント提出	6
		中間考査		
11月	アルトリコーダー二重奏 モーツァルトについて	C,F,Gの音階の連指を習得する。楽譜に慣れ、自らの力で読譜できるようになる。きれいな音で表現できるようになる モーツァルトの人生を辿りながら、当時の音楽様式や作品を学ぶ	意欲をもって、実技課題に取り組めたかどうか。 集中して鑑賞できたか。 プリント提出	8
12月	2学期のまとめ	期末考査 メドレー唱 終業式	ノート提出	2
1月	ミュージックバル合奏 コードネーム	互いの音を聞きあいながら協力してアンサンブル活動する 基本的三和音の構成音を理解する	協力して練習できているか 互いの音を聴きあいながらアンサンブルできたか プリント提出	6
2月	ミュージックバル合奏 コードネーム	互いの音を聞きあいながら協力してアンサンブル活動する 基本的三和音の構成音を理解する	担当パートの音取りができ、豊かな発声で歌えたかどうか。 小テスト	6
3月	一年のまとめ	学年末考査・卒業式予行・卒業式	ノート提出	2
		修了式		

府中高等学校 令和3年度 年間授業計画

教科： 芸術科 目： 書道Ⅰ 単位数： 2単位
 対象学年組： 第1学年1組～6組
 教科担当者：
 使用教科書： (書道Ⅰ 光村図書)
 使用教材： ()

	指導内容	書道Ⅰの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
4月	国語科書写から芸術科書道へ漢字の変遷	始業式・入学式・オリエンテーション 書写から書道へ 文房四宝について 書写 基本点画の復習 孔子廟堂碑の学習	興味、関心、意欲、態度、出欠、提出 作品	4
5月	楷書を学ぶ	九成宮醜泉銘の臨書 雁塔聖教序の臨書 顔氏家廟碑の臨書、顔法の学習 中間考査・校外学習	興味、関心、意欲、態度、出欠、提出 作品	6
6月	楷書を学ぶ	鄭義下碑の臨書 体智略 造像記の臨書	興味、関心、意欲、態度、出欠、提出 作品	8
7月	楷書創作	期末考査 一文字を選び、色紙に創作 終業式	興味、関心、意欲、態度、出欠、提出 作品	4
8月				
9月	行書を学ぶ 漢字作品の制作	行書筆法の復習、自分の氏名を行書で書く 行書について 王羲之、蘭亭序について 書作品の鑑賞 蘭亭序臨書	興味、関心、意欲、態度、出欠、提出 作品	8
10月	草書を学ぶ 隷書を学ぶ	集字、草稿作り、実践 作品を仕上げる 草書について、書譜の臨書 中間考査 隷書について、曹全碑の臨書	興味、関心、意欲、態度、出欠、提出 作品	8
11月	日本の書について学ぶ	空海について 風信帖について 臨書 臨書 半切に清書	興味、関心、意欲、態度、出欠、提出 作品	8
12月	仮名を学ぶ 鑑賞	期末考査 いろは単体の練習 仮名作品の鑑賞、連続・紙面構成・料紙について 終業式	興味、関心、意欲、態度、出欠、提出 作品	6
1月	仮名の書の創作	書初め、創作 仮名の書の創作 句や歌を決める、草稿作り 実践、作品制作 漢字仮名交じりの書について 作品鑑賞	興味、関心、意欲、態度、出欠、提出 作品	4
2月	漢字仮名交じりの書を学ぶ	合唱祭 祭日 漢字仮名交じりの書の創作 休業日	興味、関心、意欲、態度、出欠、提出 作品	2
3月	日常生活での書	学年末考査・卒業式予行・卒業式 実用書、硬筆の練習 はがき、表書き 修了式	興味、関心、意欲、態度、出欠、提出 作品	6

府中高等学校 令和3年度 年間授業計画

教科:(芸術) 科目:(美術I) 対象:(第1学年1組～6組) 2単位

教科担当者:

使用教科書: Art and You 創造の世界へ(日文)

使用教材:

	指導内容	科目「美術I」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
4月		春季休暇		4
		入学式		
	オリエンテーション&校内スケッチ	美術Iの目的を理解する。校内スケッチでは、身近な風景を観察し「美として捉える眼差し」を学ぶ。	テーマを的確に捉え、主体的に学ぶ姿勢。	
	デッサン①手	自分の手を観察し、「立体を表す技術」を学ぶ。		
5月		G・Ⅱ		4
	デッサン②自画像	自分の頭部を観察し、「自分を他者として捉える心構え」と「立体を表す技術」を学ぶ。	デッサンやデザインの基礎力を身につけたかどうか。	
		中間考査		
	デザイン①パレットの作成	デザインの基礎となる「色彩論」を学び、平筆、丸筆の使い分け方など「彩色の技術」を学ぶ。		
6月		体育祭		8
	デザイン①パレットの作成	「混色」について実践しながら、「パレット(色見本)」を作成する。		
	デザイン②平面構成【直&曲線】	「平面構成についての基礎知識」を学び、「対立する2つの概念を色と形で表すアイデア」を考える。	ルールに則った起案と丁寧な作業力。	
	デザイン②平面構成【直&曲線】	「曲線と直線による下書き」を作成し、修正しながら「彩色」を実践する。		
7月	デザイン③平面構成【自由課題】	前回までの学びを生かした「自由課題のアイデア」を考える。		2
		期末考査		
	デザイン③色彩構成【自由課題】	アイデアを修正しながら、「自由課題を完成」させる。	前回までの学びを踏まえたオリジナリティと完成度。	
		終業式		
8月		夏季休暇		
9月		始業式		6
	立体①フィギュアコンセプトシート	彫塑の歴史から「現代美術」について学び、「オリジナルフィギュア」のアイデアを考える。	柔軟な発想と主体性を持つことができたかどうか。	
	立体①フィギュアコンセプトシート	前回のアイデアを生かした「コンセプトシート」を作成する。		
	立体①フィギュアコンセプトシート	「コンセプトシート」の彩色をする。		
10月	立体②塑像	フィギュアの「胴体部分」の塑像をする。		6
	立体②塑像	フィギュアの「胴体部分」の塑像を続ける。	自分自身の世界観を突きつめて表現することができたか。	
	立体②塑像	フィギュアの「手足及び細部」の塑像をする。		
		中間考査		
11月	立体②塑像	フィギュアの「手足及び細部」の塑像を続ける。		8
	立体②塑像	各部分の「ヤスリがけと彩色」をする。		
	立体②塑像	各部分の「組立」をする。	丁寧な作業力とアイデアを立体に移すうえでの創意工夫。	
	立体②塑像	フィギュア全体の「彩色とヤスリがけ」をし、フィギュアを完成させる。		
12月		期末考査		4
	コラージュ	西洋絵画の技法「フォトコラージュ」について学び、写真を選別する。		
	コラージュ	選別した写真を構成し、「コラージュ」を完成させる。	歴史に対する興味と、技術を学ぼうとする力。	
		終業式 冬季休暇		
1月		始業式		6
	木彫	「彫刻刀の安全な使い方」学ぶ。	注意深く観察し、見た通りに写すことができたか。	
	木彫	キーホルダー用の角材に彫刻をする。		
2月	木彫	角材の彫刻を続ける。		6
	木彫	ヤスリがけ、彩色をほどこして、キーホルダーを完成させる。		
	絵画の鑑賞&模写	図書室にて、西洋絵画の歴史について学ぶ。	身近な題材を作品化するうえで柔軟な発想を持つことができたか。	
	絵画の鑑賞&模写	模写の「下書き」をする。		
3月		入試		4
	絵画の鑑賞&模写	模写の「彩色」をする。		
		学年末考査		
	絵画の鑑賞&模写	模写を完成させて、「名画の価値」について実感する。	アイデアを実現するために、根気強く作業できたかどうか。	
		修了式		

府中高等学校 令和3年度 年間授業計画

教科:(英語) 科目:(コミュニケーション英語Ⅰ) 対象:(第1学年 1組 ~ 7組) 3単位

教科担当者:

使用教科書:(LANDMARK English communicationⅠ 啓林館)

使用教材 : (LANDMARK English communicationⅠ Workbook)

	指導内容	科目「コミュニケーション英語Ⅰ」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定 時数
4月		始業式・入学式・オリエンテーション		6
	Lesson 1 What Can Blood Type tell Us?	動名詞、不定詞の用法を理解する。	授業に対する意欲と理解/発表 /課題等の提出 /小テスト・定期 考査等	
		血液型に対する日本人と外国人の関心の違いを、様々な観点から理由を探り、理解する。		
5月	Lesson 2 Curry Travels around the World	分詞の後置修飾、現在完了形の用法を理解する。	授業に対する意欲と理解/発表 /課題等の提出 /小テスト・定期 考査等	10
		カレーのルーツと語源を説明した文章を読み、的確に事実関係をつかむ。		
		中間考査・校外学習		
6月	Lesson 3 School Uniforms	関係代名詞、SV+疑問詞節(0)、SVO+疑問詞節(0)の用法を理解する	授業に対する意欲と理解/発表 /課題等の提出 /小テスト・定期 考査等	11
		日本の制服事情、海外での制服事情についての説明文をよみ、様々な立場の意見を理解する。		
	Lesson 4 Gorillas and Humans	seemの用法(seem to do / It seems that ~)、現在完了進行形の用法を理解する。 ゴリラと人間の類似性を理解しながら、ゴリラの生態についての説明文を読み、内容を理解する。		
7月	総合英語問題集	期末考査	授業に対する意欲と理解/発表 /課題等の提出 /小テスト・定期 考査等	4
		入試問題を題材とした問題集に取り組み、読解力、記述力を高める。		
		終業式		
9月	Lesson 5 "gr8" or great?	・It ~ that の形式主語構文、知覚動詞+0+動詞の原形/現在分詞 ※知覚動詞…see, hear, feel など の用法を理解する	授業に対する意欲と理解/発表 /課題等の提出 /小テスト・定期 考査等	7
		英語圏の若者が用いる新種の言語について理解し、その与える影響について考え、意見交換する。		
10月	Lesson 6 Biodiesel Adventure	・過去完了形 ・使役動詞+ 0+ 動詞の原形 ※使役動詞…make/ let/ have について理解する。	授業に対する意欲と理解/発表 /課題等の提出 /小テスト・定期 考査等	10
		バスコファイブ号の仕組みと、周生さんが旅をはじめた経緯について理解し、環境に優しい活動とは何かを考える契機とする。		
		中間考査		
11月	Lesson 7 Eco-tour on Yakushima	・前置詞+関係代名詞・関係副詞の用法について理解する。	授業に対する意欲と理解/発表 /課題等の提出 /小テスト・定期 考査等	12
		世界遺産屋久島と、エコツアーについて理解する。		
		屋久島の地理や気候、特色のある遺産についての説明文を読み、内容を理解する。		
12月	Lesson 8 Mariko Nagai, Super Interpreter 総合英語問題集	期末考査	授業に対する意欲と理解/発表 /課題等の提出 /小テスト・定期 考査等	5
		・関係代名詞の what・分詞構文の用法について理解する。		
		通訳者の過酷な仕事についての理解を深めるとともに、題材となる、永井さんがどのようにその仕事をこなしているかを読み、課題解決能力を高くむ契機とする。		
1月	Lesson 9 Space Elevator	・仮定法過去 ・倍数表現の用法について理解する。	授業に対する意欲と理解/発表 /課題等の提出 /小テスト・定期 考査等	9
		・宇宙エレベーターの実現性や、その仕組み、使われている技術についての説明文を読み、内容を的確に理解する。		
		・宇宙エレベーターができれば、何がしたいか考え、意見交換をする。		
2月	Lesson 10 Friendship over Time	・関係代名詞の非制限用法・仮定法過去完了の用法について理解する。	授業に対する意欲と理解/発表 /課題等の提出 /小テスト・定期 考査等	8
		・トルコ航空機による日本人救出劇の概要を理解する。		
		・背景にあったエルール号の事故の経緯に矢、そこに係った大島村民献身的なかかわりを理解する。		
3月	総合英語問題集	学年末考査・卒業式予行・卒業式	授業に対する意欲と理解/発表 /課題等の提出 /小テスト・定期 考査等	5
		総合英語問題集を活用し、求められる情報の読解や、問題解答へのアプローチを理解する。		
		修了式		

府中高等学校 令和3年度 年間授業計画

教科:(英語) 科目:(英語表現Ⅰ) 対象: 第(1)学年(1)組 ~ (7)組 (3)単位

教科担当者:

使用教科書: (ATLANTIS English Expressin I)

使用教材: (Evergreen English Grammar 27 Lessons :Evergreen 総合英語 : workbook)

指導内容	科目「英語表現Ⅰ」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
4月	自己紹介 英語で簡単な自己紹介ができる		
動詞と文型 (1) (2)	自動詞と他動詞の区別ができる。There is 構文を理解する。 基本文型(第1文型、第2文型、第3文型)の構造を理解する。 基本文型(第4文型、第5文型)の構造を理解する。 5文型の違いが見分けられる。	課題提出状況・単語テスト・授業への取り組み等を総合的に評価する。	6
5月	動詞と時制 (1) ~ (3) 完了形 現在完了形、現在完了進行形の用法が理解できる。過去完了、未来完了が理解を理解する。 中間考査 助動詞 (1)	定期考査・課題提出状況・単語テスト・授業への取り組み等を総合的に評価する。	10
6月	助動詞 (2) 受動態 不定詞 (1) (2) ※名詞的用法・形容詞的用法 不定詞の名詞的用法と、形容詞的用法を理解する。	課題提出状況・単語テスト・授業への取り組み等を総合的に評価する。	11
7月	Option 6,7 前置詞 (1) (2) 前置詞の意味と、用法を理解する。	定期考査・課題提出状況・単語テスト・授業への取り組み等を総合的に評価する。	4
9月	不定詞 (3) 動名詞	定期考査・課題提出状況・単語テスト・授業への取り組み等を総合的に評価する。	7
10月	分詞 (1) (2) 中間考査後 分詞 (3)	課題提出状況・単語テスト・授業への取り組み等を総合的に評価する。	10
11月	比較 (1) (2) 関係詞 (1) ~ (3)	定期考査・課題提出状況・単語テスト・授業への取り組み等を総合的に評価する。	12
12月	Option 1 疑問詞と疑問文 Option 2,3 時制の一致と語法	課題提出状況・単語テスト・授業への取り組み等を総合的に評価する。	5
1月	複合関係詞 仮定法 (1)	課題提出状況・単語テスト・授業への取り組み等を総合的に評価する。	9
2月	仮定法 (2) (3) 否定 接続詞	年間を通しての定期考査・課題提出状況・単語テスト・授業への取り組み等を総合的に評価する。	8
3月	Option 4 いろいろな構文 Option 5,6 代名詞 (1) (2)		5

府中高等学校 令和3年度 年間授業計画

教科：情報科 目：社会と情報 単位数：2単位

対象学年組：第1学年1組～7組

教科担当者：

使用教科書：（「新・見てわかる社会と情報」日本文芸出版）

使用教材：（ポイントでマスター 「基礎からはじめる情報リテラシーOffice2016対応」 実教出版）

	指導内容	科目の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
4月	第4章 第2節 情報のデジタル化	デジタルとアナログについて理解する。	興味・関心 意欲・態度 知識・理解 ワークシート 課題	2
		10進法、2進法、16進法について理解する。		2
		文字と音のデジタル化について理解する。		2
		画像や動画のデジタル化について理解する。		2
5月	文書処理ソフト	文書処理ソフト：文字の入力方法	興味・関心 意欲・態度 知識・理解 ワークシート 課題	2
		文書処理ソフト：ホームポジション		2
		文書処理ソフト：特殊な文字の入力		2
		文書処理ソフト：文章を入力する（コピー&ペースト）		2
		文書処理ソフト：文章を入力する（フォントサイズ、色）		2
6月	文書処理ソフト	文書処理ソフト：文字の入力方法	興味・関心 意欲・態度 知識・理解 ワークシート 課題	2
		文書処理ソフト：ホームポジション		2
		文書処理ソフト：特殊な文字の入力		2
		文書処理ソフト：文章を入力する（コピー&ペースト）		2
		文書処理ソフト：文章を入力する（フォントサイズ、色）		2
7月	文書処理ソフト	文書処理ソフト：画像の挿入	興味・関心 意欲・態度 知識・理解 ワークシート 課題	2
		文書処理ソフト：図形の挿入		2
		文書処理ソフト：表の挿入		2
		文書処理ソフト：実習課題		2
		期末考査		
8月		テスト返却		
		終業式		
8月	第2章 第2節 情報をわかりやすく表現する	ユーザID、パスワードについて適切に設定できるようにする。 表計算ソフト：データの入力		2
		身の回りの情報機器について知る。 表計算ソフト：計算		2
9月	第3章 第1節 情報化が社会に及ぼす影響	データを保存する方法や場所について理解する。 表計算ソフト：実習課題	興味・関心 意欲・態度 知識・理解 ワークシート 課題	2
		情報機器は様々な場面で活躍していることを理解する。 表計算ソフト：体裁を整える		2
		個人情報をもやみに発信する危険性について理解する。 表計算ソフト：実習課題		2
		電子掲示板などを利用する際の情報モラルやマナーを理解する。 表計算ソフト：グラフを作成する		2
		著作権や肖像権を理解する。 表計算ソフト：実習課題		2
9月	第3章 第2節 情報セキュリティの確保	セキュリティを高めるための方法について理解する。 表計算ソフト：実習課題	興味・関心 意欲・態度 知識・理解 ワークシート 課題	2
		暗号化がどのような仕組みで行われているか理解する。 表計算ソフト：グラフを作成する		2
		コンピュータウイルスについて理解し、注意点を学ぶ。 表計算ソフト：実習課題		2
		中間考査		
		ソーシャルエンジニアリングについて理解する。 表計算ソフト：関数を利用する		2
9月	第4章 第1節 情報通信ネットワークとコミュニケーション	検索サイトを活用することでさまざまな情報を得ることができると知る。 表計算ソフト：実習課題	興味・関心 意欲・態度 知識・理解 ワークシート 課題	2
		知的財産権について理解する。 表計算ソフト：並べ替え、抽出		2
		個人情報を活用すると便利になる側面もあることを理解する。 表計算ソフト：実習課題		2
		コミュニケーションの形態が変化していることに気付く。 表計算ソフト：異なるアプリケーションでの利用		2
		情報の特徴とメディアについて理解する。 表計算ソフト：実習課題		2
9月	第4章 第1節 情報通信ネットワークとコミュニケーション	期末考査	興味・関心 意欲・態度 知識・理解 ワークシート 課題	
		期末考査		
		情報通信ネットワークの特徴について理解する。 表計算ソフト：情報をわかりやすく表現する		2
		終業式		
10月	第4章 第1節 情報通信ネットワークとコミュニケーション	電子メールの基本的な仕組みやマナーを理解する。 プレゼンテーションソフト：簡単なプレゼンテーションの作成	興味・関心 意欲・態度 知識・理解 ワークシート 課題	2
		電子メールの基本的な仕組みやマナーを理解する。 プレゼンテーションソフト：オブジェクトの挿入		2
		サーバとクライアントの関係について理解する。 プレゼンテーションソフト：実習課題		2
		インターネット上のサービスについて理解する。 プレゼンテーションソフト：グラフや表の取り込み		2
		データを送る仕組みについて理解する。 プレゼンテーションソフト：効果的なアニメーション		2
2月	第4章 第4節 望ましい情報社会を築く	さまざまな情報システムの特徴を理解する。 プレゼンテーションソフト：プレゼン発表準備	興味・関心 意欲・態度 知識・理解 ワークシート 課題	2
		情報システムが実際に社会で役立っていることを理解する。 プレゼンテーションソフト：プレゼン発表準備		2
		さまざまな状況の人の立場を想定し、情報システムのあるべき姿を考える。 プレゼンテーションソフト：プレゼン発表準備		2
		プレゼン課題 発表1		2
		プレゼン課題 発表2		2
		プレゼン課題 発表3		2
3月	第2章 第2節 情報をわかりやすく表現する	学年末考査・卒業式予行・卒業式	興味・関心 意欲・態度 知識・理解 ワークシート 課題	2
		プレゼン課題相互評価		2
		修了式		

府中高等学校 令和3年度 年間授業計画

教科:人間と社会-総合的な探究の時間 科目:人間と社会-総合的な探究の時間 対象:第2学年 1組 ~ 7組 単位 1単位

教科担当者:

使用教科書:

	指導内容	科目「1学年 総合的な学習の時間」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定 時数
4月	進路ガイダンス	本校の進路状況の把握	●課題に積極的に取り組んだか、実施課題の理解を深めることができたか。 ●振り返りシート等の提出、課題の取組状況、出欠等を総合的に判断する。	6
	進路ガイダンス(学習のススメ)	本校の学習体制の把握		
	文理選択適性検査ジブラボ	自らの適性をチェックする。		
	スタディサポート第1回	自己の学力・学習状況を把握する。		
5月	進路希望調査/	自己理解① 現状把握	●課題に積極的に取り組んだか、実施課題の理解を深めることができたか。 ●振り返りシート等の提出、課題の取組状況、出欠等を総合的に判断する。	6
	(自己理解ワークショップ①)	社会に対しての自らの興味・関心を把握する。		
	(自己理解ワークショップ②)	自ら気づきにくい、自分の指向するものを知る。		
6月	(自己理解ワークショップ③)	社会に対しての自らの興味・関心を把握する。	●課題に積極的に取り組んだか、実施課題の理解を深めることができたか。 ●振り返りシート等の提出、課題の取組状況、出欠等を総合的に判断する。	8
	(自己理解ワークショップ④)	社会に関しての自ら意見をまとめて、発表する。		
	進路ガイダンス(進路の手引)	進路に関しての具体的なプラン作成		
	(自己理解ワークショップ⑤ まとめ)	自己分析を通じて、自らについて探求する姿勢を持つ。		
7月	スタディサポート	学力と学習状況の把握。	●課題に積極的に取り組んだか、実施課題の理解を深めることができたか。 ●振り返りシート等の提出、課題の取組状況、出欠等を総合的に判断する。	4
	職業講話	職業についての認識を深める。		
8月	大学研究	大学についての現状把握	●課題に積極的に取り組んだか、実施課題の理解を深めることができたか。 ●振り返りシート等の提出、課題の取組状況、出欠等を総合的に判断する。	20
9月	スタディサポート	スタディサポートの実施と振り返りにより、自己の学習状況の進展状況を理解し、進学に向けての学習の取組意識を向上させる。	●課題に積極的に取り組んだか、実施課題の理解を深めることができたか。 ●振り返りシート等の提出、課題の取組状況、出欠等を総合的に判断する。	5
	修学旅行研究①	地域研究の観点から、課題を発見し探究活動を進める。		
	修学旅行研究②	修学旅行に向け、全体を把握し、計画を進める。 「人間関係を築く」についての概論及び、ペアワークにより、人間関係を築くことについての理解を深める。 「コミュニケーション能力育成」についてのグループワークにより、コミュニケーション能力育成及び人間関係を築くことについての理解を深める。		
10月	修学旅行研究③	地域についての課題を設定し、探究活動を進める。	●課題に積極的に取り組んだか、実施課題の理解を深めることができたか。 ●振り返りシート等の提出、課題の取組状況、出欠等を総合的に判断する。	6
	文理選択ガイダンス	文理選択のために、自己の現状を把握する		
11月	文理選択研究①	ジブラボ分析による現状把握。	●課題に積極的に取り組んだか、実施課題の理解を深めることができたか。 ●振り返りシート等の提出、課題の取組状況、出欠等を総合的に判断する。	7
	文理選択研究①	分離選択のための自己把握。		
12月	合唱祭準備、進路計画	合唱祭に向け、クラス練習を通して、コミュニケーション能力を高めていく。3年0学期のスタートに向けての意識の向上をはかる。	●課題に積極的に取り組んだか、実施課題の理解を深めることができたか。 ●振り返りシート等の提出、課題の取組状況、出欠等を総合的に判断する。	5
	合唱祭準備、進路計画	合唱祭に向け、クラス練習を通して、コミュニケーション能力を高めていく。3年0学期のスタートに向けての意識の向上をはかる。		
1月	修学旅行研究④	テーマに沿って小論文を書き、添削を受ける。	●課題に積極的に取り組んだか、実施課題の理解を深めることができたか。 ●振り返りシート等の提出、課題の取組状況、出欠等を総合的に判断する。	4
	合唱祭準備	合唱祭に向け、クラス練習を通して、コミュニケーション能力を高めていく。		
	探究活動	プレゼン大会にむけての資料作成。		
2月	合唱祭準備	合唱祭に向け、クラス練習を通して、コミュニケーション能力を高めていく。	●課題に積極的に取り組んだか、実施課題の理解を深めることができたか。 ●振り返りシート等の提出、課題の取組状況、出欠等を総合的に判断する。	5
	修学旅行研究まとめ	プレゼン大会リハーサル		
3月	卒業生を囲む会	卒業生の進路から、自らの状況を捉え直す。	●課題に積極的に取り組んだか、実施課題の理解を深めることができたか。 ●振り返りシート等の提出、課題の取組状況、出欠等を総合的に判断する。	3